

いざ、スポーツのまちへ!

三重とこわか国体・三重とこわか大会に向けて、スポーツ施設の整備が進んでいます

“する”スポーツだけでなく、“観る”スポーツも楽しめる

新しいスポーツ施設のオープンや東京2020オリンピック、三重とこわか国体・三重とこわか大会の開催に向けて盛り上がる、本市のスポーツのホットな話題をお伝えします。

5/1
OPEN
(予定)

中央緑地の体育館が、より機能的にリニューアル!

四日市市総合体育館

市民がスポーツを楽しむとともに、全国大会などの大規模な大会を開催できる新しい体育館を、中央緑地に整備しています。これにより、スポーツをするだけでなく、トップレベルのスポーツを観られる場所へ生まれ変わります。

- ポイント①** これまで(中央体育館)の約1.7倍の広さのアリーナ
…バレーボール4面、バスケットボール3面、ハンドボール2面、バドミントン20面などに使えるスペースです。3,032席の観覧席のほか、移動観覧席512席を用意。
- ポイント②** ダンスやバレエなどのほか、大会開催時の練習会場や控室にも使える多目的室
…さまざまな使い方ができる多目的室が2室あり、それぞれ分割利用もできます。
- ポイント③** 近的射場(28m)だけでなく遠的射場(60m)も併設された弓道場
…遠的射場ではアーチェリーもできます。※霞ヶ浦弓道場は今年4月30日をもって閉鎖予定
- ポイント④** アリーナなどの内装に木材を使用し、木の温もりを体感
…温かみのある木材を曲げながら格子状に組み合わせ、波紋の重なりや広がり表現。スポーツの感動と躍動の広がりを感じてもらうことをコンセプトとしています。
- ポイント⑤** LED照明や自然通風、屋上緑化など、環境にやさしい設計
…アリーナは風の通りやすい構造になっています。また、雨水をトイレの洗浄水に利用します。



アリーナ



多目的室



弓道場



屋上

5/29
OPEN
(予定)

硬式野球ができる人工芝の野球場／ 霞ヶ浦第3野球場

霞ヶ浦緑地に人工芝(外野)の野球場が新しく整備され、野球場は霞ヶ浦緑地に、サッカー場は中央緑地に集約されます。霞ヶ浦第3野球場は、天然芝の第1野球場と同じく、硬式野球にも利用できます。



完成イメージ図

明けましておめでとうございます。今年もよろしく申し上げます。

四日市市総合体育館と霞ヶ浦第3野球場が、いよいよ今年5月にオープンします。新しい体育館は、東京2020オリンピックに出場するカナダ代表体操チームの事前キャンプ地会場にもなります。本市では、同オリンピック出場が内定した本市出身の中村匠吾選手と向田真優選手、そしてカナダ体操チームを、パブリックビューイングを開催して応援します。

また、今年三重とこわか国体(令和3年)の競技別リハーサル大会が開催されます。ますます高まるスポーツ熱で四日市全体を盛り上げていきましょう。

四日市市長 森 智広



地域密着!

スポーツチーム

TOPIC

祝! 四日市市ホームタウン包括連携協定を締結

本市に活動拠点を置き、広く市内外での活躍が期待できるスポーツ団体と連携協定を締結。それにより、市民や企業などがチームを応援する機運を高め、本市に対する誇りや愛着を醸成し、スポーツ文化の定着を図るとともに、スポーツを通じた地域振興や情報発信による元気なまちづくりを目指します。



パールズ
▲締結式(PEARLS)



▲締結式
(ヴィアティン三重)

同協定締結 第1号



PEARLS

(女子ラグビーフットボール)



「三重から世界へ!」をスローガンに、世界の舞台で活躍できる選手を育成するため、平成28年に女子ラグビーチームPEARLSを結成。現在、ジュニアからトップチームまで50人以上が所属し、地元企業にスポンサーや雇用支援をしていただきながら活動しています。女子7人制ラグビー国内最高峰の「太陽生命セブンズシリーズ」では、これまで9大会に出場し、4度日本一に輝いています。今年度は15人制と7人制の女子日本代表にも9人(候補選手含む)輩出し、名実ともに日本女子ラグビー界のリーディングチームへと成長しました。

県内小学生向けの出前授業など地域貢献活動にも積極的に参加。地域に愛され、全国、そして世界でも認知されるよう知名度を高めるとともに、関わる全ての皆さんに元気を与えられるような、人が集まるグローバルなクラブを目指しています。

ゼネラルマネージャー
齋藤 久さん



同協定締結 第2号



ヴィアティン三重

(男子バレーボール)



ヴィアティン三重は、「子どもたちを笑顔に、地域と共に夢と感動を。」という理念の下、平成24年に総合型地域スポーツクラブとして設立しました。サッカーから始まり、現在はバレーボール、陸上、ハンドボール、新体操など、さまざまな種目で活動しています。

バレーボールは、強豪校があるのに受け皿となるVリーグチームが県内になかったことから、平成28年にチームを発足しました。3年間で順調に昇格し、今季からV2リーグに所属していますが、リーグのレベルがこれまでより高いと感じています。まずはV2リーグの上位チームに勝って足元を固め、将来的にはV1リーグに昇格することが目標です。

現在も市内で小・中学生向けにバレーボール教室を行っていますが、協定締結によって、地域と交流する機会が増えることを期待しています。

代表取締役社長
後藤 大介さん



同協定を締結したスポーツチームについては、広報よっかいち1月下旬号同時配布物でも紹介します

●他にも本市には、全国レベルでの活躍が期待される、次のようなスポーツチームがあります



デーエスファー
TSV1973四日市
(サッカー)

18歳で単身ドイツに渡ってプレーし、帰国後いくつかのチームを経て引退。その後起業するなど、さまざまな経験を積んできました。その経験を踏まえ、選手やスタッフを大切に、市民の皆さんに愛される地域に根付いたクラブチームをつくりたいと考えています。まずはジュニア世代の育成指導に力を入れながら、将来のJリーグ昇格を視野に、着実に進めていきたいです。将来、おばあちゃんと孫がスタジアムで一喜一憂する姿を見られることが理想ですね。



代表/TOPチーム総監督
渡邊 俊介さん



永和商事ウイング硬式野球部

創業25周年を迎えた平成23年、スポーツを通じて地域の活性化に貢献したいという思いから、社会人野球チームを創部。創部3年目と4年目には、最激戦区の東海地区予選を突破し、四日市市代表として都市対抗野球大会に出場しました。3度目の同大会出場、そして野球で日本一、マナーでも日本一を目標に日々の練習に励んでいます。また、市民の皆さんに応援していただけるよう、野球教室や献血活動をはじめ、地域との交流を深める活動を積極的に行っています。



取締役 野球部部长
岩本 昌男さん

番外編

WELCOME/
**カナダ体操
チーム**



日本も
カナダも

みんなで
応援しよう



東京2020オリンピックに向けて、カナダ体操チームは平成28年から毎年本市を訪れ、市内で練習を行っています。その際には、市内小学校で演技を披露したり、カナダにちなんだ給食を児童と一緒に食べたりしています。また、中学校で武道の部活動に参加したり、四日市萬古焼の陶芸を体験したりするなど、文化的な交流も実施しています。

カナダ体操チームは世界の強豪チームの一つで、オリンピック本番でもメダルが狙える実力を備えています。

今年の夏、カナダ体操チームが本市で事前キャンプを行います。公開練習の場を設け、世界トップクラスの技と演技を間近に見ていただけます。ぜひ、日本代表だけでなく、本市で事前キャンプを行うカナダ体操チームも応援してください。



▲テストキャンプで来市



▲中央体育館での公開練習

四日市市出身の選手が東京20

男子マラソン

中村 匠吾さん(内部小・中学校出身)



平成20年 上野工業高校(現伊賀白鳳高校)入学
平成23年 駒澤大学入学
平成27年 富士通(株)入社

■マラソンを始めたきっかけは？

長距離走をしていた高校生の頃から、将来はマラソンを走りたいと思っていました。大学3年生の時に東京2020オリンピックの開催が決まり、マラソンで出場したいという思いが強くなったことが、マラソンを始めたきっかけです。

■競技生活での苦労やうれしかったことは？

故障をして何カ月も走れない期間が何度かあり、辛い思いもしました。ただ、それを乗り越えてレースで優勝したり、自己ベストで走ることができたりした瞬間は、とてもうれしかったです。

■四日市での思い出は？

四日市は、食べ物も美味しくて自然豊かで、毎日友達と遊んでいた記憶があります。大四日市まつりも有名で、とても楽しかったです。

■子どもたちへのアドバイス

私は、小学5年生の時に地元のクラブチームに入り、陸上競技を始めました。その時に教えていただいた「走ることの楽しさ」は今でも大切にしているので、思い切り楽しんで走ってください。

■オリンピックへの意気込みは？

東京2020オリンピックのスタート地点に立つまでにできる限りの準備をして、100%の状態ですべてに臨みたいです。

■地元へのメッセージ

東京2020オリンピックでは練習の成果を出せるよう、精一杯頑張りますので、ご声援よろしくお願いします。

内部陸上少年団

＼水谷渉コーチに聞きました！／

内部陸上少年団では、「明るく楽しく、みんなでわいわいと」をモットーに活動しています。ビルドアップ走やインターバル走などをしつつ、追いかっこやドッジボールも取り入れて、楽しみながら練習しています。

当時の中村選手は、とても大人しい子でしたね。黙々と練習する持久力のある子でしたが、まさか将来オリンピックに出るとは思いませんでした。卒団時に渡したメッセージ入りのリレーバトンをも大切に持っていると話してくれましたよ。昨年10月には小学校や少年団を訪問し、子どもたちと一緒に練習もしてくれました。オリンピックではベストを尽くせるように頑張ってもらいたいです。

中村選手、オリンピックで金メダルを獲ってください。みんなで応援しています

自分も中村選手のようなオリンピック選手になりたいです



20オリンピックの舞台へ



■レスリングを始めたきっかけは？

格闘技をしていた父の知り合いにレスリングの先生がいたことと、幼稚園の友達に誘われたことがきっかけで、5歳の時にレスリングを始めました。

■競技生活で辛かったことや楽しかったことは？

小学校の卒業とともに親元を離れて上京したので、最初は知り合いも誰もいないところで不安でした。でも、他競技の選手とも交流できて楽しかったですね。

■四日市での思い出は？

一緒に中学校に上がれないと分かっていたので寂しかったのですが、その分、修学旅行や運動会は良い思い出です。また、ジュニアレスリングクラブでは宇野先生に大変お世話になりました。大きな大会にはいつも応援に来てくれる宇野先生は、今も大きな存在です。

■子どもたちへのアドバイス

私は楽しいからレスリングを続けてこられたので、楽しんでやってほしいなと思います。

■今後の目標は？

一つ一つ目標を立てて取り組んでいます。今の目標はオリンピックで良い結果を出すこと。オリンピックはゴールではなく、その先を見据えて、結果次第でまた次の目標を立てていきたいと思っています。

■地元へのメッセージ

なかなか地元には戻れませんが、オリンピックはテレビ越しで見てもらえると思うので、結果を出せるよう頑張ります。

女子レスリング53キロ級

向田 真優さん(泊山小学校出身)



平成22年 JOCエリートアカデミー入校

平成28年 至学館大学入学

向田選手が目標です。私も将来オリンピックに出て、優勝したいです

憧れの向田選手と同じピンクのシューズを履いています



四日市ジュニアレスリングクラブ

＼ 宇野勝彦監督に聞きました! /

四日市ジュニアレスリングクラブには、幼稚園から中学校までの子どもが所属し、中央緑地レスリング場で練習しています。

向田選手は小学3年生ぐらいからずっと強かったです。子どもの頃から、飛行機投げや外無双など何度も練習して習得した技を試合で使うのを見て、いつもうれしく見守っていました。真面目で優しく、みんなに好かれる性格ですよ。上京した後も夏休みなどのたびにレスリング場に顔を出し、子どもたちに教えてくれています。

自分には達成できなかったオリンピック出場が内定し、本当にうれしく思っています。オリンピックでメダルを獲ってくれることを期待しています。